

B+COM SX1

ユーザーズマニュアル

24.04



WARNING

運転中は安全運転を最優先として
B+COM をご使用ください。

はじめに

サイン・ハウス「B+COM SX1 (ビーコムエスエックスワン)」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。B+COM SX1 はデジタル無線技術「Bluetooth 5.0」を採用しています。キットをヘルメットに装着して、携帯電話でのハンズフリー通話、ミュージックプレーヤーの音楽やポータブルナビなどの音声のリスニング、タンデムライダーやペアライダーとの会話を外部に配線を引くことなくワイヤレスで快適に楽しめる、新しいコミュニケーションツールです。本製品を安全に、良好な状態で、末永くお使いいただくために、ご使用前に本ユーザーズマニュアルを必ずお読みください。ユーザーズマニュアルは保証書も兼ねておりますので、大切に保管してください。

ご注意

- ・本ユーザーズマニュアルに記載されている内容を無断転載することは禁止されております。
- ・製品の仕様、ならびに本ユーザーズマニュアルの内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・本ユーザーズマニュアルの内容に関してご不明な点などがございましたら、弊社 WEB サイト (sygnhouse.jp) をご覧いただくか、「保証書」に記載されている連絡先までお問い合わせください。
- ・「Bluetooth」は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、サイン・ハウスはライセンスに基づいて使用しています。
- ・本製品は電波法に適合する工事設計認証を取得し、日本国内での使用許可を得ています。
※海外では、国により電波使用制限が異なるため、本製品を使用する場合は現地の規定をご確認ください。

目次

1. はじめに

主な特長／重要なお知らせ／安全に正しく
お使いいただくために／各パーツの名称と
はたらき／充電方法／電源を入れる／切る

2. B+COM同士の接続・通話

B+LINK 対応機種同士で話す (初期登録、通話)
その他のインカムと話す (初期登録、通話)

3. デバイスの接続・聞き取り

デバイスと接続する (初期登録)／登録済デバイス
と接続／携帯電話を操作する／音楽を聴く／
ナビ音声 (レーダー警告音) を聞く

4. 「聴きトーク」、便利な使い方

聴きトークの始め方／聴きトーク時の音量
バランス調整／インカム通話中のマイクOFF機能／
B+COMオーディオシェアの始め方

5. その他

設定・登録情報をリセットする／操作早見表／ボイス
アシストの音声内容一覧／ソフトウェアをアップ
デートする／スマートフォンアプリを使う／仕様
／こんなときは／保証規約

主な特長

みんなで一発ペアリング、かんたんグループトーク！
「B+LINK※」通話機能搭載

※B+COM SX1, SB6XR, SB6X, ONEに対応



集合して、わずか30秒でグループ通話が始められる！
離れても自動で再接続！通話再開も一発簡単！



スマホの音楽、ラジオ、ナビ音声が良い音で聴ける！

大容量D級アンプ

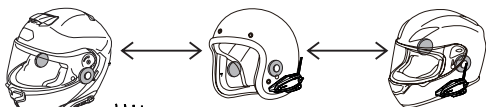
+高音質スピーカー採用！



- ・音楽プレーヤー
- ・ラジオアプリ
- ・カーナビアプリ
- ・ハンズフリー通話も可能！

音楽やナビ音声をステレオで聴きながら、会話ができる！

「聴きトーク」機能搭載



または



音楽プレーヤー
/ナビなど

重要なお知らせ

保証書が無い場合は、いかなる理由でも保証対象外です！

本体ユニット以外は消耗品です

マイクやスピーカーなどは消耗品のため、過度な使用や過度な応力による破損・断線、経年劣化等の場合は、補修部品をご購入ください。本製品の耐久性を超える負荷、環境下でのご使用において発生した故障は有償（修理費用、送料等）となる場合があります。



お客様ご自身の利用環境に起因する自然消耗、磨耗、劣化による破損・故障・障害の場合

本製品の耐久性を超える負荷、環境下でのご使用において発生した故障は有償（修理費用、送料等）となる場合があります。

バッテリーの劣化にご注意ください

電池残量が低下したまま保管すると、内蔵バッテリーが短期間で劣化して使用できなくなります。使用後、保管前には必ず充電し、長期保管する場合は定期的な充電（月1回程度）をしてください。

充電式



本製品は水中使用を保証しておりません

本製品の本体部は防水構造となっており高い防水保護性能を有しています。しかし、マイクやスピーカーは防水仕様ではありません。オートバイ用のヘルメットへ正しく装着してオートバイ走行環境での使用のみ防水性が発揮されます。また雨天走行後は、本体の水分を拭き取り、マイクやスピーカー、本体のコネクタの水分を拭き取ってください。濡れたまま放置すると端子部が錆びて充電や音声が入らなくなる恐れがあります。



本製品およびヘルメット取り扱い、大切に、そして慎重にやさしく！

ヘルメットは安全を守る大切なギアです。そのヘルメットに装着して使用する事を想定して設計されており、強い衝撃や無理な力での取り扱いに耐える強度は有しておりません。大切に请使用ください。



1. はじめに

2.

B+COM 同士の
接続・通話

3.

デバイスの
接続・聞き取り

4.

「聴きトーク」
便利な使い方

5.

その他

安全に正しく お使いいただくために

- B+COM SX1 は精密部品で構成された電子機器です。ご使用になる前に、この「使用上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ユーザーズマニュアルには、お使いになるあなたや、他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全なご使用のために守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになる場合は、保護者などの大人がユーザーズマニュアルをよくお読みになり、安全で正しい使い方をご指導ください。
- オートバイ運転中の携帯電話や通信機等の使用に関しては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。
- オートバイ運転中に本製品を使用する場合、自己責任で安全運転を心掛けてください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解の上、本文をお読みください。

危険

指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至ることを示します。

警告

指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを示します。

注意

指示に従わない場合、傷害に至る可能性があることを示します。

< 使用上の注意 >

危険

- 分解、改造、修理をしないでください。本製品の発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となり、ケガをする恐れがあります。
- 水がかかる場所への放置、または水没させないでください。本製品は防水仕様ですが、長時間にわたり水がかかる環境下での使用は想定しておりません。また、本体が濡れた状態や濡れた手でマイクパーツやUSB ジャック接続パーツの着脱を行わないでください。発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 高温多湿になる場所、熱器具の近くでの充電、放置は避けてください。発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。
- 異常状態のまま使い続けしないでください。発煙や焦げ臭いなどの異常を放置して使用すると、発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。ただちに使用を中止して、販売店に検査および修理の依頼をしてください。
- ボリューム設定に気を付けてください。突然の高音量、継続的な高音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
- 自動ドアなどの近くでは使用しないでください。自動ドアや火災報知器の自動制御装置が誤作動する恐れがあります。
- 気温の低い場所から、屋内などへ移動した場合、本体内に結露が発生することがあり、そのまま使用を続けたり、充電をすると発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

警告

- 高音量で聴きながらの運転は危険です。運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。また、音に集中すると運転意識の低下につながり、重大な事故の原因となります。
- 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所に避難してください。落雷や感電に見舞われる恐れがあります。
- 医療機器などの近くでは電源を切ってください。Bluetooth の電波は微弱ですが、医療向け計測器、心臓ペースメーカーなどの近くでは使用を控えてください。それら機器をお使いの場合は、機器製造メーカーや販売店に電波による影響についてご確認ください。
- 飛行機の中では使用しないでください。電波が影響を及ぼし、事故の原因になる恐れがあります。

<電池に関するご注意>

B+COM SX1は内蔵バッテリーにリチウムイオン電池を使用しています。

警告

- バッテリーパックから漏れた液が目や肌に付着した時は、こすらずに清潔な水で洗い流してください。洗い流した後は、早急に眼科や皮膚科などの医師の診断を受けてください。漏れた液が本体内部に残っていることがあるので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 家庭用コンセントからの充電の際は指定の USB ACアダプターを使用してください。指定以外の USB ACアダプターを使用すると、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。
- USB ACアダプターを使用する場合、指定以外の電源、電圧で充電しないでください。交流 100V-240V 以外の電源、電圧で充電すると火災や故障の原因となります。
- 長期間使用しない時は USB ACアダプターをコンセントから抜いてください。挿したままの状態では放置すると、発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 充電時には接続端子にゴミや汚れ、水分などが付いていないか確認してください。
- 内蔵バッテリーは消耗品です。劣化した状態の内蔵バッテリーで製品を使用し続けるとバッテリーの発熱、破裂、発火、故障の原因となります。満充電後の使用時間が短くなった場合は、内蔵バッテリーの劣化が考えられます。内蔵バッテリーの交換(有償)を推奨します。弊社サポートセンターにご連絡ください。

注意

USB ジャックに金属片を接触させないでください。
内蔵バッテリーがショートして発熱、破裂、発火する恐れがあります。



Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。
製品が不要になった場合には、お住まいの市区町村
または自治体のルールに従って処分してください。

Bluetooth について



Bluetoothとは短距離デジタル無線通信方式の世界標準規格です。携帯電話、パソコン、パソコン周辺機器、ゲーム機、家電製品など、Bluetooth機能を持つ機器同士を無線で接続し、音声やデータのやり取りが可能です。

Bluetoothを使えばケーブルを使わずスッキリ手軽にワイヤレスでの接続ができます。さらに機器との間に障害物があっても通信できるので、一方の機器をバッグやポケットの中に入れて使うこともできます。Bluetooth機能を備えた機器は増え続けており、ジャンルのを超えた接続が可能になっています。

(接続するには双方のBluetooth機器に同一のプロファイルが実装されている必要があります)
※Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、プログラミングされた機能が再現できない場合があります。

使用する電波について

本製品は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局無線設備として工事設計認証を受けています。日本国内で本製品を使用する際に無線局の免許は不要です。

機器名：B+COM SX1

※海外では、国により電波使用制限が異なるため、本製品を使用する場合は現地の規定をご確認ください。

B+COM SX1は2.4GHz帯の電波を使用しています。この周波数帯では他の無線機器も電波を発信しています。電波干渉を防ぐため、近くで以下の機器や無線局が使用されていないかを確認し、電波干渉が起こった場合は速やかに使用を止めるか、場所を変えて使用してください。

- 電子レンジや心臓ペースメーカーなどの産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用される免許を必要とする移動体識別用構内無線局
- 免許を必要としない特定小電力無線局
- アマチュア無線局
- IEEE802.11g/b規格の無線LAN機器

各パーツの名称とはたらき

①ヘルメットスピーカー

高音質ステレオスピーカーです。

②メインユニット

USBポートが付いています。ここから充電とファームウェアアップデートを行います。

③ボタンユニット

操作はすべてこのユニットで行います。

④アンテナユニット

通信を安定させます。

⑤アームマイク用スポンジ

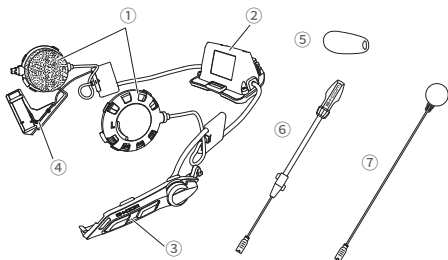
マイクに被せる事で物理的に風切り音を軽減します。必ず使用してください。

⑥アームマイク

システムヘルメット、ジェットヘルメットに使用します。

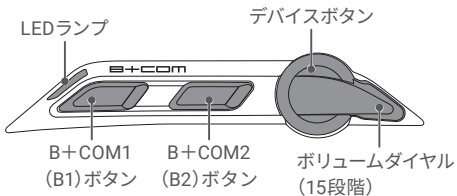
⑦ワイヤーマイク

フルフェイスヘルメットに使用します。



ユニット各部の名称

ボタンユニット



メインユニット

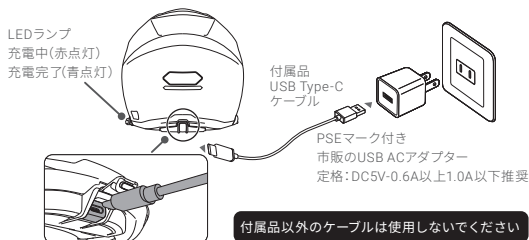


充電方法

B+COM SX1は内蔵バッテリーで作動します。メインユニットと付属のUSB Type-Cケーブル、市販のUSB ACアダプターをつなぎ、コンセントに接続してください。

※本製品には、USB ACアダプターは同梱されておりません。PSEマークの付いた市販のUSB ACアダプターをご準備ください。

初めて使用するときは、必ず充電してください。



! 本体の充電、およびソフトウェアアップデートについては、付属の「USB Type-Cケーブル」を必ず使用してください。市販の「USB Type-Cケーブル」を使用した場合、本体の故障、トラブル(発熱、発火)の原因となる恐れがあります。

! 本体のUSB Type-C 端子へ挿入する際は、無理な力を掛けずに、正しく確実に挿入してください。

! 充電前に端子部の水分、ゴミ、汚れ等を必ず除去してください。

! 使用後は必ず充電してから保管してください。
長期保管時は、1ヶ月に1回程度は追充電を行ってください。

ツーリングなど使用後はバッテリー残量が少なくなっています。バッテリー残量が少ない状態での保管は放電が進み、短期間でバッテリーが劣化してしまいます。使用後は「充電してから保管」の徹底をお願いします。

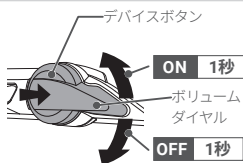
電源を入れる／切る

● 電源ON

デバイスボタンを押したまま、1秒間ボリュームダイヤルを上に戻す

● 電源OFF

デバイスボタンを押したまま、1秒間ボリュームダイヤルを下に戻す



◎ 電源ON時、バッテリー残量を表示します

電池の残量は、LEDランプの表示パターン および音声によって確認できます。

- 電源をON時
- B2ボタンを2回押す

LEDランプ	音声	状態
青1秒間点灯	電池残量80%以上	良好です。 そのまま使用可能です。
紫1秒間点灯	電池残量50%以上	直ちに充電が必要な状態ではありません。
赤1秒間点灯	電池残量30%未満 充電してください	まもなく充電が必要な状態ですが使用可能です。
赤2回点滅	パーポー(ピープ音) 充電してください	充電が必要な状態です。 充電してからご使用ください。 ※定期的に出力し続けます

1. はじめに

2. B+COM 同士の
接続・通話

3. デバイスの
接続・聞き取り

4. 「聴きトーク」
便利な使い方

5. その他

B+LINK 対応機種同士で話す B+LINK登録 (ペアリング) 編

B+COM独自通話機能、「B+LINK」(ビーリンク)

SX1は、みんなで集まって同時にペアリングするだけで、かんたんにグループトークが始まる、「B+LINK」(ビーリンク)通話機能を搭載。グループで集まって、同時にペアリングアクションをするだけ。グループペアリングに要する時間はわずか30秒。

グループトークを始めるのもかんたん。グループの誰かが1つの操作をするだけで、すぐにグループトークが始められます。電源を入れていれば、仲間から自動でグループに招待されます。さらに、離れて通信が切れても、近くのB+LINK仲間を自動で探します。

<B+LINK対応機種>

SX1 / SB6XR / SB6X / ONE

<B+LINK機能を持つB+COMとの初期登録(ペアリング)をする>

SX1を含むB+LINK対応機種を最大6台までまとめて一回でペアリングすることが可能です。

一度、このペアリングを行えば、登録情報はメモリーされ、通話のたびにこの操作の必要はありません。ただし、違うメンバーとペアリングを行った場合は、新たなメンバーでペアリングをし直す必要があります。

①SX1のペアリング操作

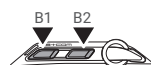
ペアリングするB+LINK対応機種は、すべてペアリングモードにしてください。

【電源ON】



【ペアリングモード】

B1およびB2ボタンを同時に3秒間長押し

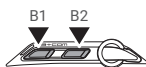


LED 緑高速点滅

サウンド 「B+LINKグループ登録」

②SX1のサーチ操作

ペアリングモードの**1台のみ**サーチ操作をしてください。



B1およびB2ボタンを同時に押す

LED 緑点灯

サウンド 「サーチ開始」

③接続を待つ

②の操作をしたSX1

B、C、Dは、②の操作をしたAから順番に接続されるのを待つだけ



ポイント

スマートフォンやナビ等を接続したまま行うことが可能です。混雑しているパーキングなど通信環境が悪い状況では、登録できない場合があります。(場所を変える、製品同士を近づけるなどお試しください)

B+LINK 対応機種同士で話す 登録後の B+LINK 通話編

1. はじめに

2. B+COM 同士の
接続・通話

3. テレパイスの
接続・聞き取り

4. 「聴きトーク」
便利な使い方

5. その他

<ペアリング済みのSX1同士で通話を始める>

①SX1全機の操作

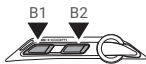
【電源をONにする】



②呼び出し操作

ペアリング済みの**1台のみ**操作をしてください。

B1およびB2ボタン
を同時に押す



LED 緑点灯

サウンド ポンポーン(呼出音)

③接続を待つ

②の操作をした
SX1

B、C、Dは、②の操作をしたAから順番に接続
されるのを待つだけ



LED 緑ゆっくり点滅

サウンド 「B+LINK開始」

B+LINK通話機能は、距離等で離れて通信状態が悪くなった場合でも、接続可能な他のB+LINK対応機種を自動で探し続けます。その際、20秒間に1回「ポンポーン」というピーブ音でお知らせします。

<グループの接続を保ったまま通話をOFFにする>

B+LINK通話中
B1ボタンを
押す



サウンド

「トークOFF」

再度押すと
通話に戻ります



サウンド

「トークON」

<強制的にB+LINK登録全員の呼び出しをする>

B+LINKグループの仲間の状態に関わらず、強制的にグループ一斉呼び出しを行います。

※「トークOFF」の相手は強制的に「トークON」へ切り替わります。

B+LINK通話中
B1ボタンを
1秒間長押し



サウンド

「B+LINK開始」

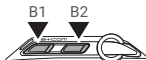
<"B+LINK"通話の接続を完全に切断する>

<"B+LINK"自動接続をキャンセル/再接続する>

B+LINK接続中または、
自動接続要求中B1および
B2ボタンを同時に押す

サウンド

「B+LINK終了」(通話中)
「キャンセル」(自動接続要求中)



再度、B1およびB2ボタン
を同時に押すことで
B+LINKに再接続可能
です。



接続相手を探している間、音楽などを聴いている場合、音声がかかる場合があります。

また、明らかに通信状態が良いと思われる距離に戻った場合でも、接続までに時間が掛ったり、自動で接続できない場合がございます。その際は、B+LINK通話の自動接続をキャンセルして、再度B+LINK通話接続操作を行ってください。

B+COM SB6X V5.0 / ONE V2.0より前のバージョンと接続を行った場合、通話音質が低下します。

そのほかのインカムと話す 初期登録(ペアリング)編

B+LINK対応機種以外のバイクインカムと通話する場合は、ユニバーサル通話機能(他社インカムとの接続方法)を使用します。

ユニバーサルインターコール・レシーブ

接続相手のインカムに
ユニバーサル機能がある場合

① SX1の操作

電源ONの状態で
B2ボタンを
長押し



LED 赤点滅

サウンド B+COM2 ペアリング

② 接続相手のインカム

他社接続機能の
ペアリング操作を行う

※操作方法是各インカムの
取扱説明書をご参照ください。

③ 自動で通話が始めれば完了

LED 青ゆっくり点滅

サウンド B+COM2 接続

通話が始まらない場合

本製品を再起動してB2ボタンを押すか、相手インカム側で「登録済みインカムを呼び出す」操作を行ってください。

ユニバーサルインターコール

接続相手のインカムに
ユニバーサル機能がない場合

① 「ユニバーサルインターコール」を「オン」に設定



PC用アプリ「B+COM U」または、スマートフォン用アプリ「B+COM U Mobile APP」で本製品の設定変更をします。

アプリ内の設定メニューより

ユニバーサル
インターコールの設定を ON /

※アプリケーションの説明・ダウンロードはP.26をご参照ください。

② SX1の操作

電源ONの状態で
B2ボタンを
長押し



LED 赤点滅

サウンド B+COM2 ペアリング

③ 接続相手インカムの操作

携帯電話とペアリングする
操作を行う

※ペアリング方法は各インカムの
取扱説明書をご参照ください。

④ SX1の操作と状態

B2ボタンを押す

LED 赤点灯

サウンド ブポ、ブポ…

⑤ SX1の状態

通話が自動で始めれば完了

LED 青ゆっくり点滅

サウンド B+COM2 接続

通話が始まらない場合

本製品を再起動してB2ボタンを押すか、相手インカム側で「携帯電話と再接続する」操作を行ってください。

※同じ手順で、本製品のB1ボタンにもペアリング情報を登録可能です。

ただし、B+LINK登録情報がすでに存在する場合、B1ボタンへの登録はできません。

リセットモードでB+LINK登録情報を消去してからペアリングを行ってください。

※PC/スマートフォンアプリから設定できる本製品の「ユニバーサルインターコール」は、基本的に「オフ(初期設定)」にしてください。接続相手のバイクインカムがユニバーサル接続機能を持たない場合のみ、「オン」に変更してください。

そのほかのインカムと話す 登録後の通話編

再接続

ユニバーサルインターコール、
ユニバーサルインターコール・レシーブ
どちらで接続した場合も共通

① SX1の操作

電源をONにする



② 接続相手インカムの操作

電源をONにする

※操作方法は各インカム
の取扱説明書をご参照
ください。

③ 自動で通話が始めれば完了

SX1側の表示とサウンド

LED 青ゆっくり点滅 サウンド B+COM2 接続

通話が始まらない場合

本製品のB2ボタンを押すか、接続相手のインカム
で「登録済みインカムを呼び出す」操作または
「携帯電話と再接続する」操作を行ってください。

※距離が離れて切断した場合も、上記手順で通話開始操作を行ってください。

くわしい解説や 各種インカムとの接続例

過去モデルのB+COMや、他社製バイクインカムとの接続に
使用するユニバーサル接続機能について、サイン・ハウスWEBで
くわしくご紹介しています。

ご紹介内容

- ・B+LINKとユニバーサル接続機能のちがい
- ・B+COMならではのユニバーサル接続機能の特長
- ・他社インカム接続手順解説動画
- ・B+LINK通話とユニバーサル通話の同時接続方法



<https://sygnhouse.jp/products/bcom/tips/universal/>

※他社インカムとの動作・通話品質の保証はいたしておりません。
※他社インカムとの通話音質、通信距離、接続性、動作安定性などは、接続相手側の仕様や
性能に大きく左右されます。
※他社インカムとのペアリングや接続にかかる時間は、環境や条件によって異なります。

1. はじめに

2. B+COM 同士の
接続・通話

3. デバイスの
接続・聞き取り

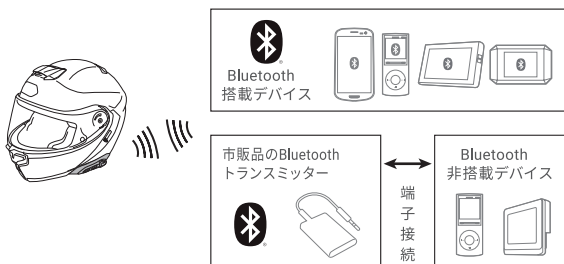
4. 「聴きトーク」
便利な使い方

5. その他

デバイスと接続する(初期登録)

<B+COMをデバイス機器とペアリングする前の基本情報>

B+COM SX1で各デバイス(スマートフォン、音楽プレーヤー、ナビゲーションなど)とBluetooth通信をするためには、最初にペアリング(初期登録)を行う必要があります。デバイスの種類が違って、SX1側のペアリング操作方法は同じです。



<デバイス割り込みアシスト機能>

本製品は、2台のデバイスを接続して快適にご使用頂けるように、使用用途に合わせて2つのデバイスを最適に接続する「デバイス割り込みアシスト機能」を採用しています。

2つのデバイスを同時に接続してご使用される際には、以下の通り接続するデバイスを「デバイス1」または「デバイス2」どちらで接続するかプランを決めて、それぞれペアリング(登録)を行ってください。

デバイス1へ登録して接続 (AVRCP対応)

スタンダードなデバイス接続機能。

デバイス1接続に最適な機器:

- 1台目の携帯電話用(リダイヤル発信操作/着信応答)
- スマートフォン(音楽、ナビ、ラジオ、電話通話、Siri)
- 音楽プレーヤー(AVRCP搭載機はリモコン操作可能)
- オーディオトランスミッター
- A2DP出力バイクナビ/レーダー

デバイス2へ登録して接続 (A2DP優先割り込み)

デバイス1接続よりも優先してA2DP音声を出力します。

ただし、本製品側からリモコン操作、リダイヤル発信操作ができません。

デバイス2接続に最適な機器:

- 2台目の携帯電話用(着信応答のみ)
- スマートフォン(ナビアプリ、着信応答のみ)
- HFP/HSP出力のバイクナビ/レーダー

<A2DPデュアルストリーミング機能>

A2DPデュアルストリーミング機能をONにすることでデバイス1とデバイス2に接続したデバイスのA2DP音声を同時に聴くことが可能です。

※PC用アプリ「B+COM U」または、スマートフォン用アプリ「B+COM U Mobile APP」で設定変更が可能です。

デバイスと接続する(初期登録) つづき

1.はじめに

<B+COMとデバイス機器とペアリングする>

【デバイス1へ登録する場合】

① SX1の操作

電源OFFを確認。電源がONの場合は電源OFFにしてください。

② SX1の操作

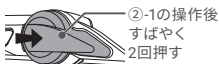
②-1



LED 青+赤高速点滅

サウンド 「B+COM起動」
「デバイス1ペアリング」

②-2 デバイス2へ登録する場合



LED 緑+赤高速点滅

サウンド 「デバイス2ペアリング」

③ デバイス機器の操作

デバイス側のBluetoothをONにして、ペアリング操作を行ってください。



登録可能な機器リストから「SX1 V○」を選択
↓
「接続済み」等の表示で完了です。

PINコードが必要な場合:0000

セルフネーム機能



B+COM設定アプリB+COM U(PC/スマホ)でデバイスに表示される名前を変更可能です。

④ SX1の表示

LED 青ゆっくり点滅

サウンド 「デバイス1接続」

◎一度ペアリングを行うと、デバイス情報が登録されます。デバイスの登録情報は本体メモリーに保存されるため、電源のON/OFFを行うたびにペアリング操作の必要はありません。

◎以下の場合、再度ペアリングを行ってください。

- ・ALLリセットまたは、デバイス情報消去を行った場合
- ・メモリー上限数4台を超えた古い登録のデバイス (メモリー上限数: デバイス1=4台、デバイス2=4台)
- ・デバイス側で本製品の登録情報を消去した場合
- ・本製品またはデバイスのアップデートを行った場合

◎登録したデバイスの組み合わせによっては、2台同時に使用できない場合があります。

⚠ 接続機器の機種およびOSバージョンにより、チャンネルの切り替えや「聴きトーク」、Siriなどで動作不安定になる場合があります。

2. B+COM 同士の
接続・通話

3. デバイスの
接続・聞き取り

4. 「聴きトーク」
便利な使い方

5. その他

登録済みデバイスと接続する

! デバイス1、およびデバイス2に登録したデバイスを接続して使用できる台数は、それぞれ1台ずつ(合わせて2台)となります。

<オートコネクで接続する>

本製品は、電源起動後の数秒間、登録済みデバイスを自動で探して接続を行います。

☞ 未登録のデバイスと接続する→P.12～P.13

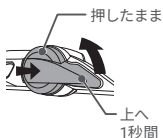
① デバイス機器の操作

デバイス1または2にペアリング済みのデバイスの電源を入れるか、BluetoothをONにします。



② SX1の操作

B+COMの電源を起動するとオートコネクにより、登録済みのデバイスを探し自動で接続を行います。



LED 青 ゆっくり点滅*

サウンド 「B+COM起動」→「ボンボン」(サーチ音)
→「デバイス1接続」

※デバイス検索中は「青2回点滅(繰り返し)」

<マニュアルコネクで接続する>

本製品は、電源起動後にオートコネクの接続ができなかった場合、以下の操作を行う事で登録済みのデバイスを自動で探して接続を行います。

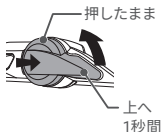
① デバイス機器の操作

デバイス1または2にペアリング済みのデバイスの電源を入れるか、BluetoothをONにします。



② SX1の操作

電源ON状態で右の操作を行うと登録済みのデバイスを探して接続を行います。



LED 青 ゆっくり点滅

サウンド 「ボンボン」(サーチ音)
「デバイス1接続」

<デバイス側操作で接続する>

B+COM側からの接続を受け付けないデバイスの場合や、デバイス側操作で接続したい場合は、以下の方法でデバイスから接続を行ってください。

① SX1の状態

電源ON状態。
電源起動後のオートコネクサーチが終了した状態。

LED 青 点滅

② デバイス機器の操作

デバイス側のBluetoothをONにして、登録済み機器リストから「SX1 V〇」を選択



③ SX1の表示

LED 青 ゆっくり点滅

サウンド 「デバイス1接続」

! デバイス機器の組み合わせにより2台同時に繋がらない場合は、1台ずつ接続を行ってください。

携帯電話を操作する

1. はじめに

2.

B+COM 同士の
接続・通話

3.

デバイスの
接続・聞き取り

4.

「聴きトーク」
便利な使い方

5. その他

<B+COM SX1で電話をかける>

本製品は、登録済みの携帯電話と接続することで携帯電話のハンズフリー機能が使用可能です。

- ☞ 未登録のデバイスと接続する→P.12~P.13
- 登録済みのデバイスと接続する→P.14

ハンズフリー機能の操作

着信応答



デバイスボタンを
1回押す

着信拒否



デバイスボタンを
2回押す

終話



デバイスボタンを
1回押す

リダイヤル

※デバイス1に接続した
機器のみ



デバイスボタンを
3秒以上長押し

※リダイヤル機能は、PC/スマートフォン用アプリ「B+COM U」から有効または無効の設定変更ができます。

<音声認識機能> Siri / Googleアシスタント

① SX1の操作

デバイス1に接続した携帯電話のみ操作が可能です

インカム通話中は通話をOFFにしてから

音声認識
機能を開始



デバイスボタンを
2回押す

サウンド

携帯電話側の音声
認識機能の開始音

※iOS/Androidのバージョンアップにより正常に動作しなくなる可能性があります。また、その場合についての動作保証はいたしかねます。

② ボイスコマンド



※「Hey Siri」「OK Google」の発話による起動はできません。

音楽を聴く

<B+COMで音楽を聴く>

本製品は、登録済みのスマートフォンや音楽プレーヤーと接続することで高音質のステレオサウンドをワイヤレスで楽しめます。

☞ 未登録のデバイスと接続する→P.12~P.13
登録済みのデバイスと接続する→P.14

① デバイス機器の操作

デバイス機器側で音楽などを再生します。スマートフォンはアプリを開いて音楽やラジオを再生します。



<アプリ例>

- 音楽プレーヤー
- ラジオアプリ
- Podcast
- その他音声コンテンツ

② SX1の操作

デバイス側で音楽などを再生すると、本製品のスピーカーから音声が出力されます。音楽再生中は以下の操作が可能です。

再生、
一時停止



再生：
デバイスボタンを
1回押す



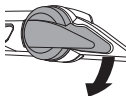
一時停止：
デバイスボタンを
1回押す

曲のスキップ※1



デバイスボタンを
上に1秒間回す

曲の頭出し※1、
巻き戻し※1※2



デバイスボタンを下に
1秒間回すと曲の頭出し、
もう1度下に1秒間回すと
1曲前に戻ります。

音量調整



音量を上げる：
デバイスボタンを
上に短く回す

音量を下げる：
デバイスボタンを
下に短く回す

※1 AVRCP (リモコン機能) 対応デバイスのみ操作可能です。一部の SONY ウォークマン®、Garmin 製ナビは非対応となっております。

※2 頭出しをしてから再度デバイスボタンを1秒間回す。間隔はプレーヤーの特性に準じます。

ナビ音声(レーダー警告音)を聴く

1. はじめに

<B+COMでナビ/レーダーの音声案内を聴く>

本製品は、登録済みのバイクナビ、バイクレーダーやスマートフォンのナビアプリの音声案内をワイヤレスで聴くことができます。

☞ 未登録のデバイスと接続する→P.12~P.13
登録済みのデバイスと接続する→P.14

① デバイス機器の操作

バイクナビやバイクレーダーの音声案内を開始します。

スマートフォンはナビアプリを起動して音声案内を開始します。



2. B+COM 同士の接続・通話

② SX1の操作

デバイス側でナビの音声案内などを開始すると、B+COMのスピーカーから音声が出力されます。ナビの音声出力のプロファイルによって、聴こえ方が異なります。



A2DPのナビ

[音声再生プロファイル]

(音楽プレーヤー、スマートフォンのアプリなどの音声出力と同じ)

携帯電話着信時:ナビ音声が出力を停止し電話の着信音に切り替わります。

A2DPデュアルストリーミング機能を使用することで2つのA2DP音声をミックスすることが可能です。

「A2DPデュアルストリーミング機能」の設定はP.12をご参照ください。



HSP/HFPのナビ

[ハンズフリー/ヘッドセットプロファイル]

(携帯電話、スマートフォンなどのハンズフリー通話と同じ出力)

音楽再生時:音楽が一時停止してナビ音声が出力

(音楽再生に自動で戻ります*)

*自動で再生しない場合はB+COM側で再生操作を試みてください。



HSP/HFP 出力のナビ、レーダーの場合、携帯電話やスマートフォンとの併用は動作不安定になることがあります。

3. デバイスの接続・聞き取り

4. 「聴きトーク」
便利な使い方

5. その他

音楽やナビ音声を聴きながら話す「聴きトーク」

本製品の「聴きトーク」は、音楽やナビ音声を聴きながら、同時にインカム通話を行うことができる機能です。

スマートフォンなどのデバイスから音声を再生した状態でB+LINK通話またはユニバーサル通話を開始すると、「聴きトーク」状態になります。

<「聴きトーク」の始め方>

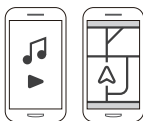
① SX1の操作

デバイスと接続する



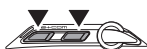
② デバイスの操作

音楽やナビ音声を再生する



③ SX1の操作

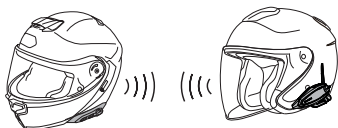
B+LINK通話またはユニバーサル通話を開始する



B+LINK
通話



ユニバーサル
通話



④ SX1の状態

音楽やナビ音声を聴きながら、同時にインカム通話を行う「聴きトーク」状態になる

ライダーA



ライダーAの
スマートフォン音声
(ライダーAのみ聴こえる)

ライダーB



ライダーBの
スマートフォン音声
(ライダーBのみ聴こえる)

インカム通話

・デバイスボタンを押すと音楽が一時停止し、インカム通話のみの状態になります。再度デバイスボタンを押すと、音楽が再生されます。

※「聴きトーク」中にインカム通話相手との距離が離れた場合、インカム通話音声や音楽、ナビ音声などのデバイス音声が乱れる場合があります。通信が乱れない距離まで近付くか、デバイスの音声を一時停止し、再度、再生してください。

ポイント 自分が聴いている音楽やナビ音声を、インカム通話相手へ共有して一緒に聴きたい場合は、オーディオシェア機能を使用します。「B+COM オーディオシェア」機能→P.20～P.21

「聴きトーク」中の 音量バランスの調整方法

1. はじめに

2.

B+COM 同士の
接続・通話

3.

デバイスの
接続・聞き取り

4.

「聴きトーク」
便利な使い方

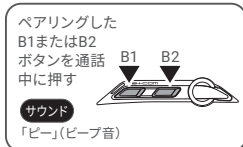
5. その他

<「聴きトーク」中の音量バランスの調整方法>

本製品の聴きトーク時のインカム通話音量とデバイスの音声の音量バランスを、以下の方法で独立して調整することが可能です。

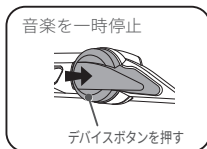
●デバイスの音量だけを調整したい場合

以下の方法で、一旦通話をOFF状態にしてデバイスの音量調整を行い、再度以下の操作で聴きトーク状態に戻します。



●通話の音量だけを調整したい場合

再生している音楽を一時停止して、通話の音量調整を行い、音楽を再生して聴きトーク状態に戻します。



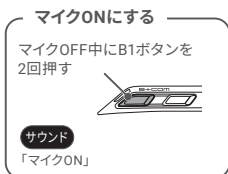
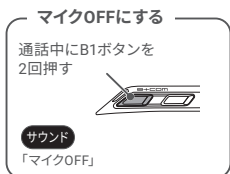
●聴きトーク全体の音量を調整したい場合

そのまま音量調整を行ってください。

インカム通話中の マイクOFF機能

<SX1インカム通話中のマイクOFF機能>

本製品は、聴きトーク中のB+LINK通話やB+COM通話のマイクをOFFにする機能があります。声は出さないようにしたいが相手の会話は聞けるようにしておきたい場合、以下の操作でマイクをOFF/ONすることが可能です。



タンデムで同じ音楽を聴く 「B+COMオーディオシェア」 タンデムモード（ステレオ音声）

本製品は自分が聴いている音楽やナビ音声をみんなで聴ける「B+COMオーディオシェア」を搭載。

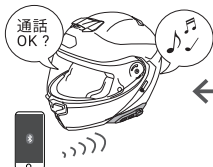
タンデムモードでは、ステレオで一緒に聴けて、グループモードではナビ音声などをモノラルでみんなで聴くことができます。

＜オーディオシェア“タンデムモード”の始め方＞

B+LINK 対応機種同士のみ対応

① A (ライダー) を通常の聴きトーク状態にする

A (ライダー)

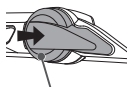


B (パッセンジャー)



オーディオシェアの起点になるのは、B+LINKペアリングの際、サーチ開始操作した側です。また、ペアリングの際は、シェアする2人だけで行ってください。ここでは、A (ライダー) がサーチ開始操作をした場合の説明です。

② A (ライダー) の操作

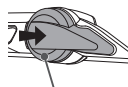


デバイスボタンを1.5秒間長押し

サウンド 「シェア開始」

④ A (ライダー) の操作

同じ操作でシェアが終了



デバイスボタンを1.5秒間長押し

サウンド 「シェア終了」

③ A (ライダー) の音が B (パッセンジャー) から流れる

A (ライダー)



B (パッセンジャー)



音楽等をステレオ音声で2人で聴きながら会話が可能です。また、どちらのB+COMからでも、曲の一時停止やスキップなどのリモコン操作が可能となります。

! 3人以上のグループではシェアされる相手が特定できないため、タンデムモードはご使用いただけません。

! ライダー同士では実用上ご使用いただけません。シェアするオーディオの最大通信距離は約10mとなります。

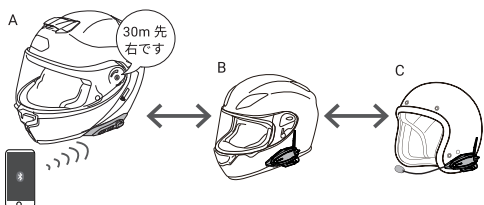
グループで同じ音声を聴く 「B+COMオーディオシェア」 グループモード (モノラル音声)

グループモードのオーディオシェアは、インカム通話音声に音楽やナビなどの音声をミックスして接続相手のインカムへ共有する機能です。

<オーディオシェア“グループモード”の始め方>

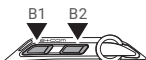
接続中の全インカムにシェア

① グループ通話を行い、聴きトーク状態にします



② A の操作

B1およびB2
ボタンを
同時に
1.5秒間
長押し

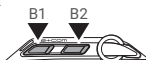


サウンド「シェア開始」

④ A の操作

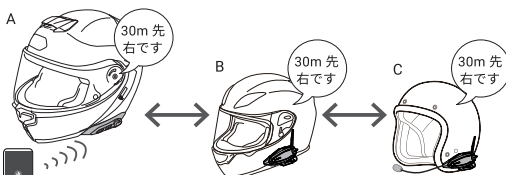
同じ操作でシェアが終了

B1およびB2
ボタンを
同時に
1.5秒間
長押し



サウンド「シェア終了」

③ A の音声が入カム通話にMIXして流れる



! 音声をシェアされる側で聴こえる音楽やナビの音量は、シェアする側の設定している音量レベルと連動します。シェアされる音声の音量が大きい、または小さい場合は、シェアする側の本製品または接続デバイスで音量調整を行ってください。

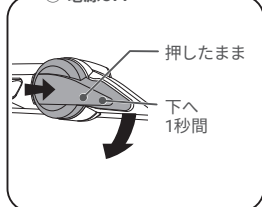
! 音声をシェアされている状態でも、自分の接続しているデバイスの音声を同時に聴く、「聴きトーク」を行うことは可能です。

設定・登録情報をリセットする

適正な操作を行ってもペアリングがうまくできない、ボタンを押しても反応しないなど、正しく動作しない場合は、登録情報のリセット操作を行い、再度、各デバイスとのペアリングを行ってください。

<ALLリセット (全ての登録情報の初期化)>

① 電源OFF



② リセット操作

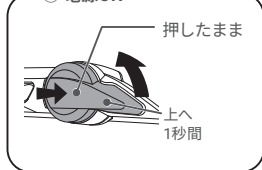
3つのボタンを同時に3秒間長押し



- LED 紫1秒間点灯
- サウンド 「オールリセット完了」

<便利な「リセットモード」(登録情報を指定して消去)>

① 電源ON



② スタンバイモード

登録済みのデバイス機器との接続の有無は問わない

- LED 青点滅

③ リセットモード

3つのボタンを同時に3秒間長押し



- LED 紫同時点灯
- サウンド 「リセットモード
消去したいボタンを押してください」

④ リセット選択

◎B+LINK登録情報を消去

B1およびB2ボタンを同時に押す

- LED 緑2回点滅→消灯
- サウンド 「B+LINK消去」

◎B1とB2のインカム登録情報を消去

B1またはB2ボタンを押す

- LED 赤2回点滅→消灯
- サウンド 「ユニバーサル消去」

◎デバイス登録情報を消去

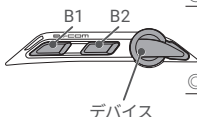
デバイスボタンを押す

- LED 青点灯→消灯
- サウンド 「デバイス消去」

◎リセットモードをキャンセル

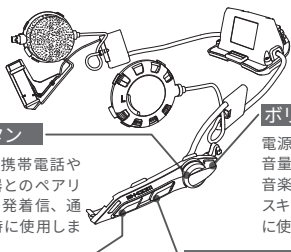
デバイスボタンを上または下へ回す

- LED 青点滅
- サウンド 「キャンセル」



操作早見表

◎B+COM使用時に、こちらのページをコピーをして簡易マニュアルとしてご利用いただけます。



デバイスボタン

電源のON/OFF、携帯電話やハンズフリー機器とのペアリング、携帯電話の発着信、通話の終了の操作時に使用します。

B+COM 1 (B1) ボタン

B+LINK のペアリングと呼出 (1+2 ボタン)、B+LINK 通話中の ON/OFF、その他のインカム (2 人目) とのペアリングおよび切断/再呼出、マイクの ON/OFF 操作に使用します。

ボリュームダイヤル

電源の ON/OFF、音量の調整 (15 段階)、音楽再生時の曲のスキップ/ 頭出し操作時に使用します。

B+COM 2 (B2) ボタン

B+LINK のペアリングと呼出 (1+2 ボタン)、その他のインカム (1 人目) とのペアリングおよび切断/再呼出、電池残量確認時に使用します。

電源

機能	操作方法	備考
電源ON	デバイスボタンを押したままボリュームダイヤルを上1秒間回す	本体 LED 青1秒間点灯
電源OFF	デバイスボタンを押したままボリュームダイヤルを下1秒間回す	本体 LED 赤1秒間点灯
電池残量の確認	B2ボタンを2回押す	4段階表示 青1秒間点灯 80% 紫1秒間点灯 50% 赤1秒間点灯 30% 赤2回点滅 要充電
ALL リセット	電源OFF状態で、デバイスボタン、B1ボタン、B2ボタンを同時に3秒間長押し	全ての登録情報を消去 本体 LED 紫1秒間点灯

ペアリング

※ペアリング時は他 Bluetooth は OFF にする

機能	操作方法	備考
デバイス1 ペアリング	電源OFFの状態から、デバイスボタンを押したままボリュームダイヤルを上1秒間回す	本体 LED 青点灯→赤青交互点滅→青点滅 ●デバイスのBluetoothはONにしておく ●PINコード入力力は「0000」
デバイス2 ペアリング	デバイス1 ペアリングの操作を行うデバイスボタンをすばやく2回押す	本体 LED 赤青高速点滅→赤緑高速点滅→青点滅
デバイスの 再接続	<B+COM電源“OFF”状態から> →デバイスのBluetoothをON →B+COMの電源ON→自動接続 <B+COM電源“ON”状態から> →デバイスボタンを押したままボリュームダイヤルを上1秒間	デバイス操作での接続を行う場合は、登録機器リストから「SX1 V〇」を選択 (B+COMの電源ON状態で行う)
B+LINK	B+LINKペアリングする全てを電源ON →B1およびB2ボタンを同時に3秒間長押し →誰か1人がB1およびB2ボタンを同時に押す	デバイス1およびデバイス2は接続したままでもOK 本体 LED 緑高速点滅→緑点灯→緑ゆっくり点滅
1人目の その他の インカム と接続	B2ボタンを3秒間長押し →その他のインカムの操作で接続を待つ (ユニバーサルインターコールのペアリング方法で操作 ※P.10をご参照ください)	本体 LED 赤高速点滅→青ゆっくり点滅
2人目の その他の インカム と接続	B1ボタンを3秒間長押し →その他のインカムの操作で接続を待つ (ユニバーサルインターコールのペアリング方法で操作 ※P.10をご参照ください)	本体 LED 赤高速点滅→青ゆっくり点滅

1. はじめに

2.

B+COM 同士の
接続・通話

3.

デバイスの
接続・聞き取り

4.

「聴きトーク」
便利な使い方

5.

その他

デバイス操作

機能	操作方法	備考
音量調整 (15段階)	ボリュームダイヤルを1段階ずつ回す (音量UP：上へ回す) (音量DOWN：下へ回す)	デバイス1およびデバイス2それぞれ個別に音量調節可。 ※音が出力されている状態で操作 聴きトーク中は全体の音量調整が可能
聴きトーク中の音量調整	通話をOFFにする（操作方法は別項） →音量調整操作	インカム通話を一旦OFFにすることで、デバイスのみ音量調整が可能 聴きトーク状態では全体の音量調整
音楽プレーヤー 曲の再生/ 一時停止	デバイスボタンを押すたびに、再生、一時停止の繰り返し	
音楽プレーヤー 曲のスキップ	ボリュームダイヤルを上1秒間回す	A2DP接続時、AVRCP機能対応機器のみ
音楽プレーヤー 曲の頭出し	ボリュームダイヤルを下1秒間回す	
携帯電話 着信応答	着信音出力後、デバイスボタンを押す	
携帯電話 終話	携帯電話通話中、デバイスボタンを押すまたは通話相手による終話操作	
携帯電話 リダイヤル発信	デバイスボタンを3秒間長押し	デバイス2接続では発信できない インカム通話中は発信できない
音声認識起動	デバイスボタンを2回押す	SiriおよびGoogleアシスタント
デバイス 登録情報の消去	電源ON状態で、デバイスボタン、B1ボタン、B2ボタンを同時に3秒間長押し →デバイスボタンを押す	本体 LED 紫点灯→消灯

インカム操作

機能	操作方法	備考
聴きトーク中の音量調整	音楽を一時停止（操作方法は別項） →音量調整操作	音楽を一旦停止することで、インカム通話のみ音量調整が可能。 聴きトーク状態では全体の音量調整
B+LINK接続	誰か1人がB1ボタンおよびB2ボタンを同時に押す	B+LINKペアリング済みの全員が電源ONならこの操作だけで全員に繋がる
B+LINK 接続中の 通話ON/OFF	B1ボタンを押すたびに、通話ON、OFFの繰り返し	B+LINKの接続は切れずに、通話機能だけON/OFFされる。 ※操作をした自分だけが通話OFF状態
B+LINK切断	B1ボタンおよびB2ボタンを同時に押す	B+LINK通話接続を完全に切断する場合に使用する
B+COM1 通話接続	ペアリングしたインカム側からの呼出で接続を開始する	距離が離れて切断した場合は、インカム側からの再接続が必要
B+COM1 接続中の 通話ON/OFF	B1ボタンを押す	B+COM1の接続は切れず、押すたびに通話状態がON、OFFされる。
B+COM2 通話接続	ペアリングしたインカム側からの呼出で接続を開始する	距離が離れて切断した場合は、インカム側からの再接続が必要
B+COM2 接続中の 通話ON/OFF	B2ボタンを押す	B+COM2の接続は切れず、押すたびに通話状態がON、OFFされる。
インカム 登録情報の消去	電源ON状態で、デバイスボタン、B1、B2ボタンを同時に3秒間長押し →B1およびB2ボタン同時押し： B+LINK登録消去 →B1ボタンを押す：B1登録消去 →B2ボタンを押す：B2登録消去	本体 LED 紫点灯→緑点滅→消灯 (B+LINK) 本体 LED 紫点灯→赤点滅→消灯 (B+COM1、B+COM2)

ボイスアシストの 音声内容一覧

1. はじめに

2.

B+COM 同士の
接続・通話

3.

デバイスの
接続・聞き取り

4.

「聴きトーク」
便利な使い方

5. その他

<ボイスアシスト案内内容>

【起動時に通知する音声】

- ・電源ON……………「B+COM 起動」
- ・電源OFF……………「B+COM 終了します」
- ・バッテリー残量
 - 「電池残量80%以上」…………… =バッテリー残量-(多)
 - 「電池残量50%以上」…………… =バッテリー残量-(中)
 - 「電池残量30%未満」…………… =バッテリー残量-(少)
 - 「充電してください」…………… =充電警告
- ・デバイス機器との接続完了 (起動時オートコネクで接続完了した場合)
 - 「デバイス1 接続」…………… ハンズフリー、A2DP
(主に携帯電話など)接続完了
 - 「デバイス2 接続」…………… ハンズフリー、A2DP
(主に携帯電話など)接続完了

【ペアリング時の音声】

- ・携帯電話、ナビ、デバイス機器とのペアリング状態
 - 「デバイス1 (または2) ペアリング」
- ・B+COM同士のペアリング状態
 - B1およびB2ボタンでの操作… 「B+LINKグループ登録」
 - B1ボタンでの操作…………… 「B+COM1ペアリング」
 - B2ボタンでの操作…………… 「B+COM2ペアリング」

【発信および通話呼び出し】

- ・携帯電話リダイヤル発信 …… 「リダイヤル」
- ・B+COM通話呼び出し
 - B1およびB2ボタン同時押し… 「B+LINK開始」
 - B1ボタンでの操作…………… 「B+COM1 接続」
 - B2ボタンでの操作…………… 「B+COM2 接続」
- ・B+LINK接続の通話中
 - 会話のOFF/ON操作…………… 「トークOFF」、「トークON」
 - B+LINK接続の切断操作…………… 「B+LINK終了」
 - B+LINK接続通信の切断…………… 「B+LINK終了」

【リセット】

- ・ALLリセット完了…………… 「オールリセット完了」
- ・リセットモード…………… 「リセットモード
消去したいボタンを押してください」
 - B1およびB2ボタン同時押し… 「B+LINK消去」
 - B1またはB2ボタンでの操作… 「ユニバーサル消去」
 - デバイスボタンでの操作 …… 「デバイス消去」

【その他】

- ・操作後の処理未完了によるモード終了…………… 「タイムアウト」
- ・操作後のキャンセル操作…………… 「キャンセル」

ソフトウェアをアップデートする



B+COM アップデートソフト 『B+COM U』

B+COM U を Windows パソコンにインストールすれば、最新プログラムの取得や B+COM U アプリ自体のアップデートも自動で完了します。
(要インターネット接続)

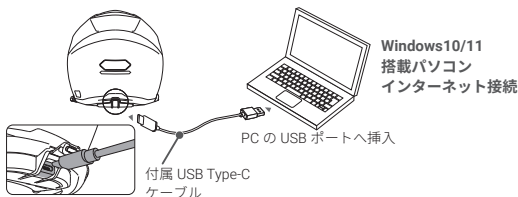
もちろん、任意の過去バージョンへのプログラム変更も可能です。
B+COM U を PC にインストール済みの方は、B+COM U を起動してプログラムのアップデートを行ってください。

B+COM U ダウンロードページ：

sygnhouse.jp ▶ サポート ▶ ソフトウェアアップデート ▶ B+COM SX1 関連

アップデートの流れ

- ①弊社ウェブサイトからB+COM Uをダウンロード
- ②B+COM Uをパソコンへインストール
※上記①・②は、一度パソコンへインストール済みの場合には不要
- ③インストールしたB+COM Uを起動する
インターネットより最新プログラムが自動ダウンロードされる
- ④本製品を付属USB Type-Cケーブルでパソコンへ接続
- ⑤B+COM Uの画面から最新プログラムを適用する



※全ての接続機器に最適化されたアップデートを行う想定はありません。
またプログラム開発に時間を要する場合がございます。

スマートフォンアプリを使う



B+COM スマートフォン用アプリケーション 『B+COM U Mobile APP』

B+COM U Mobile APP (ビーコム・ユー モバイル アップ) は、iOS/Android スマートフォン用アプリケーションです。
SX1 とスマートフォンを接続し、「B+COM U Mobile APP」を起動することで、B+LINK のモニタリングや各種設定変更などを行うことができます。

主な機能

- ・B+LINK管理機能
- ・リモコン機能
- ・ペアリングサポート機能
- ・B+COM設定機能
- ・サポート情報閲覧機能
- ・マニュアル閲覧機能



くわしくはこちら



SX1 仕様

■ 本体仕様

※本仕様は予告無く変更する場合があります。

Bluetooth Ver.	:	Bluetooth5.0
出力レンジ	:	Class1 / Class2
バッテリー	:	Li-Po 3.7V 800mA
充電時間	:	約2時間 (DC5.0V USB Type-C 端子) ※急速充電には対応していません。
端子	:	USB Type-C (充電)
本体サイズ	:	メインユニット: W82mm × H35.4mm × D46.6mm
本体重量	:	68g (マイク・スピーカーを除く)
防水性能	:	メインユニット: IP65 相当 ボタンユニット: IP67 相当
保証期間	:	ご購入から1年

■ オーディオ/インカム仕様

対応プロファイル	:	HSP, HFP, A2DP, AVRCP
スピーカー	:	外径 Φ 43mm × D7.4mm (突起部を除く) ネオジムマグネット インピーダンス 16 Ω
連続使用時間	:	最大約 20 時間
最大通話可能人数	:	6 人
グループ通話方式	:	B+LINK
ユニバーサル通話	:	対応

1. はじめに

2.

B+COM 同士の
接続・通話

3.

デバイスの
接続・聞き取り

4.

「聴きトーク」
便利な使い方

5. その他

こんなときは

下記のような場合は、ユーザーズマニュアル、クイックマニュアルをもう一度ご確認ください。それでも解決しないときは、弊社 WEB サイト (sygnhouse.jp) 内、「よくあるご質問」をご覧ください。保証書に記載されている連絡先までお問い合わせください。

電源に関するトラブル

「電源が入らない」

充電が正しく行えていない可能性があります。
充電を行ってください (P.07 参照)。

「充電ができない」

USB ACアダプターと充電ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。

音声に関するトラブル

「音が聞こえない」

スピーカーが正しく接続されているかご確認ください。

「音が小さい」

本製品および接続デバイス両方のボリュームを上げてください。

通信に関するトラブル

「ペアリングできない」

「再接続が不安定」

「電話に応答できない」

本製品のオールリセット (P.22 参照) を行い、接続デバイス (スマートフォンなど) に残る本製品の登録情報を消去した後にデバイスを再起動して再度ペアリングを行ってください。 (P.12 ~ P.13 参照)
※本製品のオールリセットだけでは正しく接続できない場合があります。

※Bluetooth 機器の機種によっては、その特性・仕様・設定・使用状況等により、操作方法が異なる事や、動作が限られたり、不安定な状態、プログラム通り機能しないなど正常に動作ができない場合があります。

よくある
ご質問は
こちら



カスタマーサポート/製品送付先

株式会社サイン・ハウス

〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子13-2 N棟11階

TEL: 044-400-1979 FAX: 044-982-3777

<https://sygnhouse.jp/support/>

保証規約

本製品の保証期間は購入日から1年間とし、その期間内に製品の製造上の不良または材質の不良が発生した場合、弊社の判断で、無償修理、製品の交換もしくは同等品への交換を行います。ただし、本体ユニット以外のマイクやスピーカー、面ファスナー等は消耗品のため保証対象外となります。

下記条件の場合は、有償(修理費用、送料等)となる場合があります。また、製品の状態によっては修理を承れない場合があります。

- ・ご使用環境(接続機器、バイク、ヘルメット等)に起因する不具合、故障
- ・本製品の耐久性を超える負荷、環境下でのご使用において発生した故障
- ・誤った使用方法により発生した故障
- ・使用過程での紛失や劣化、破損、接触不良等が生じた場合
- ・弊社サポート以外(お客様自身によるもの、他社等)での改造・修理・調整・部品交換等をされた場合

また、下記条件に関しましては、弊社では一切の保証・責任を負いかねます。

- ・天災による故障
- ・本製品の故障による付随的および間接的な損害(事故、傷害、時間の損失、不便の発生、利益の損出、付随的に発生した費用等)

本保証規定は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理依頼、および海外でご利用いただいている製品に関しては保証をお受けになれません。

製品を送付する際には必ず下記の情報を添付してください。添付なき場合、保証は無効となり、有償(修理費用、送料等)での対応となります。

1. 販売店の押印、並びに購入日が記入された保証書*
2. 送付内容(製品の種類と数量)
3. お客様のお名前と電話番号
4. 送付理由および故障内容
5. 返送先のご住所

* 保証書に店舗押印がなく購入日が記載されていない場合は、購入日(購入店舗)を確認できるレシート、領収書も添付してください。また、お客様自身で購入店舗、購入日を記入したものは無効となります。

保証期間は製品が最初に購入された日を起算とします。インターネットオークション等で購入の場合は、保証期間はインターネットオークション等の販売者より引き継ぐことになり、インターネットオークション等での購入日から1年間ではありません。販売者より引き継いだ保証書(購入日、押印未記入の場合は購入日が確認できるレシート、領収書)が必要となります。

保証期間は弊社での修理・交換等により新たに発生や、延長はされません。当初の保証期間の満了日をもって保証期間は終了いたします。

検査・修理依頼時の貸出機、代替品のご提供は行っておりません。検査・修理依頼時のお申込み方法については弊社修理ページをご確認ください。
<https://sygnhouse.jp/contact/>

修理に関するお問い合わせ ▶



本ユーザーズマニュアル(製品仕様、保証規定等)の内容は製品アップデート等により、予告なく変更される場合があります。最新の製品情報、保証規定については弊社WEBページをご確認ください。

<https://sygnhouse.jp/support/manual/>

ユーザーズマニュアル ▶



1. はじめに

2.

B+COM 同士の
接続・通話

3.

デバイスの
接続・聞き取り

4.

「聴きトーク」
便利な使い方

5. その他